

2024 ドリーム Sunday レース 車両規定

1 共通技術仕様

(1) レースのために取り外さなければならない部品

- ・ライト/ウィンカー/リフレクター
- ・バックミラー
- ・ナンバープレート、リアフェンダー、別体式の場合のナンバープレートブラケット
- ・セーフティーバー/センタースタンド/サイドスタンド
- ・同乗者フットレスト/グラブレール・シートレールに取り付けられた荷掛けフック（溶接されたものの切削も可）
- ・その他車検時に安全上取り外しを指示された部品

(2) 安全確保のため改造・変更が義務づけられる事項

- ・スロットルグリップは、手で握っていない時、自動的に閉じるものでなくてはならない。
- ・キルスイッチは、ハンドルを握ったままで操作できる位置に取り付けること。
- ・エアクリーナーボックスの下部に排出穴が開いている場合、オイルが外部に排出されないように塞がれていなければならない。
- ・すべてのドレーンプラグはワイヤーロックされなければならない（ドレンボルト、オイルフィルターキャップ、レベルゲージ、オイルフィルター等）。ワイヤーロックするための穴あけ加工は認められる。

(3) スプロケットガード

- ・ドライブチェーンとスプロケットの間に、身体の一部が誤って挟まれることがないように、フロントおよびリアスプロケットガードを取り付けなくてはならない。
- ・リアスプロケットガードは、シャープエッジでなく、板厚は最低 2mm で、スプロケットとドライブチェーンの噛合部をカバーすることとし、その材質はアルミ合金・強固なプラスチックまたは樹脂とし、その取付方法はスイングアームにボルトオンまたは溶接し、安易に脱落したりしないよう確実に固定しなければならない。

(4) エキゾーストパイプ

- ・エキゾーストパイプ先端を含む鋭利な部分は、エンドカバーのあるなしに関わらず丸みを帯びさせていなければならない。丸みを帯びさせるとは、エキゾーストパイプ先端の肉厚が 2mm 以上、その角度は 0.5R 以上とする。
- ・エキゾーストパイプの後端は、リアタイヤの位置にかかわらず、リアタイヤ後端の垂直線より後ろにないこと

(5) ハンドルバー

- ・ハンドルバーの最低幅は、400mm とする。
- ・ハンドルバーの先端は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- ・ハンドルを左右いっぱい切ってもハンドルバー（レバーを含む）と燃料タンクの間には最低 20mm の間隔がなければならない。

(6) コントロールレバー

- ・すべてのハンドルバー、レバーは、原則として先端がボール状（ボールの直径は最低 16mm）となっていること。このボールの上下の面は平でもよいが、どのような場合でも先端は丸められていること（平らな部分の厚みは最低 14mm）この先端部分はレバーと完全に一体となっていること。ブレーキレバープロテクションの装着を推奨する。

(7) フットレスト

- ・フットレストの先端は、中空でない一体構造の最低半径 8mmの球状でなければならない。
- ・フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていないと認められない。
- ・折りたたみ式でないフットレストの先端には、アルミ合金、プラスチックあるいはそれと同等の材質でできた先端（プラグ）が固定されなくてはならない（最低半径 8mm以上）。

(8) ブレーキ

- ・ブレーキは、前輪後輪にそれぞれに独立した効果的なブレーキを備えていなければならない。

(9) ボディーワーク

- ・アンダーカウルは、取り付けられていなければならず、エンジンの破損または故障時に、そのエンジンに使用されるオイルおよびエンジン・クーラントの総量を保持できる構造になっていなくてはならない。
- ・アンダーカウル下部の端部は、一番低いところから最低 50mmの高さでなければならない。
- ・アンダーカウルには直径 20mm（許容範囲 + 5mm）の穴を 1 個または 2 個設けなければならない。これらの穴はドライコンディション時には閉じられ、競技監督がウェットレース宣言した場合、開けなければならない。
- ・フレームにプロテクティブコーンの取付は認められる。プロテクティブコーンは、エンジン幅またはフェアリング表面より飛び出し量を 20mmまでとし、先端は 10R 以上とする。

(10) ナンバープレート

- ・モーターサイクルのフロントとシートカウルまたはアンダーカウルの両サイドでゼッケンナンバーが装着され、モーターサイクルのいかなる部分によっても、またはライダーがシートに座った身体によっても隠れてはいけない。
- ・数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地色と数字はつや消しでなければならない。
- ・数字の推奨寸法は下記のとおりとする。

最低高	:	140mm
最低幅	:	80mm（1 の場合 25mm）
数字の最低の太さ	:	25mm
文字間のスペース	:	15mm
- ・推奨字体は、Futura Heavy を基準とするゴシック体とする。影付き文字などは認められない。

(11) 燃料タンク及びオイルタンク

- ・燃料キャップはリークプルーフ（漏れ防止が施されているもの）であること。
- ・4 ストロークエンジン車両は、オイルキャッチタンク（200 c c 以上）を取り付けるか、クローズドプリーザーシステムを採用しなければならない。キャッチタンクの取り付けを推奨する。

(12) 燃料、冷却水

- ・すべての車両には、一般に購入できる無鉛ガソリンが使用されなくてはならない。
- ・2 ストロークエンジン車両は 2 ストロークオイルの混合を認められる。
- ・一つまたは幾つかの漏れ防止の施されたキャッチタンク（200 c c 以上）が、ラジエター水、燃料タンクのプリーザーシステム用に取り付けなくてはならない。このキャッチタンクは走行毎に空にされなければならない。
- ・水冷エンジンの冷却水は、水あるいは水とアルコールの混合物（レース用として一般市販されている冷却水）に限られる。ただし不凍液が含まれる冷却水は使用することができない。

(13) ホイール

- ・ホイール（フロント、リア）、スピンドルシャフト、ナット、ワッシャーおよびディスタンスカラーは純正の状態を維持しなければならない。ただし、材質を変更しない範囲で割りピン方式のナットからセルフロックナットへの変更は許可される。
- ・同一メーカーで、カラー、ホイールスピンドル（シャフト）、ホイールナットをそのまま使用することで改造なしにボルトオンで取り付け可能なホイール（フロント、リア）は互換性部品として使用が認められる。
- ・ホイールバランスウエイトおよびエアバルブはどのタイプを使用しても良い。
- ・ベアリング、スペーサーおよびダストシールの変更は認められる。スピードメーター駆動部の取り外しとスペーサーの変更も認められる。ダストシールは取り外すことが許可される。

(14) タイヤ

- ・タイヤは一般に市販されていて、通常ルートで購入できるものであること（TT93GP PRO/KR337 PRO/KR345/BT-601SS/BT-601SS Wet 等）。
- ・タイヤの追加工（再グルーピング等）は禁止される。
- ・摩耗限度を超えたタイヤは使用できない（残溝はインジケーターによる）。
- ・タイヤウォーマーの使用は許可される。ただし、電源は発電機等を使用すること。

2 SP / ST12 クラス技術仕様

- ・共通技術仕様に適合していること。
- ・フェアリング、ウィンドスクリーンはアフターマーケットのものに変更することができる。
- ・フロントサスペンションの変更は認められない。ただし、サスペンションフルード、トップキャップ、イニシャルアジャスター、インナーパーツ（スプリング、カラー、シートパイプ等）の変更・改造・追加およびスタビライザーの追加は認められる。
- ・リアサスペンション・スプリングの変更、または改造することができる。
- ・純正時以外の排気量は認められない。純正オーバーサイズピストンへの変更も認められない。
- ・CDI、レギュレーター、ステーター、ワイヤーハーネスの変更・改造は認められる。
- ・NSR50、NSRmini、NS50 のエンジン関連は互換性部品として使用を認める。ただし、トランスミッションは認められない。
- ・スパークプラグ、プラグキャップ、プラグコードおよびイグニッションコイルの交換を認める。
- ・エアクリーナーボックス、エレメントの取り外し・改造・交換を認める。
- ・キャブレター、ジェット・ニードル類、インシュレーターおよびスロットルケーブルの交換、エアファンネルの追加を認める。ただし、ベンチュリー径は 2 ストローク車両 20Φ以下、4 ストローク車両 22Φ以下とする。
- ・キャブレターの温水配管は取り外しを認められる。
- ・ハイスロットルのためのスロットルホルダーの変更を認める。
- ・マフラー、チャンバーの交換を認める。
- ・フロント（ドライブ）スプロケット、リア（ドリブン）スプロケットは丁（歯）数および材質の変更が許可されるが、歯幅および取り付け位置と方法は純正と同じでなければならない。

3 HRC GROM Cup / NSF100 トロフィークラス技術仕様

- ・HRC GROM Cup 技術規則、「HRC NSF100 トロフィー」マシンレギュレーションに適合していること。

4 OP12 技術仕様

- ・共通技術仕様に適合していること。

5 耐久 A クラス 技術仕様

- ・HRC GROM Cup 技術規則に適合していること（タイヤ銘柄は自由）。
- ※上記以外の GROM は ST12 となる。

6 耐久 B クラス 技術仕様

- ・スプリント SP/ST12/OP12/NSF100 技術仕様に適合していること。

7 その他

- ・大会車検での主催者の判断は、いかなる場合でも意義は認められない。